

令和元年度事業報告書

令和元年7月1日から令和2年6月30日まで

特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂

1 事業の成果

令和元年度は、『つながる』『つなげる』『仲間と拓く』新潟の防災教育を、みな（学校・地域・家庭・行政・企業・NPO等）で創るふるさと共育にする」を3か年の中期ビジョンとして掲げ、その実現に向け事業計画を立てたが、令和元年10月に発生した台風19号による広域的な豪雨・洪水災害の発生、そして新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、いくつかの事業が中止または延期を余儀なくされた。特に新型コロナウイルス感染症の影響はすさまじく、令和2年3月から6月に予定していた事業はほとんどが中止、または延期となった。令和元年度に実施したふるさと未来創造堂の事業詳細については、別紙のとおり。

- ① 重点「より一層の連携・協働を進め、共感の輪を『ふるさと共育化』への推進力にする」及び「よりよい未来の新潟を子どもと一緒に創る仲間を増やす」の実現に向けた取り組み

任意団体や企業・行政等に、既存の分野に防災を組み合わせる視点から提案を行うことで、様々な分野で防災を題材にした活動を実現することができた。

「福祉×防災」（安心安全なまちづくり及び地域づくりの支援事業）

- ・新潟市北区防災士の会と介護福祉施設が連携し、肢体不自由者や高齢者に対する介助及び車いすの操作研修会を実現することができた。防災士はその学びを活かして、地域の防災訓練にて車いすの操作体験の指導ができるようになった。

「食育×防災」（学校防災教育の支援事業・安心安全なまちづくり及び地域づくりの支援事業）

- ・新潟市内の中学校をサポートし、防災食育トランプの制作協力や食育フォーラムでの話題提供として防災講話を行った。その他、県内5小学校でパッククッキングの指導を実施した。オンライン親子防災イベントでパッククッキングを実施したことで注目も集まり、地域活動をどうするかを悩んでいた公民館や社会福祉協議会等が主催する講座につながった。

「キャリア教育×防災」（学校防災教育の支援事業）

- ・介護・災害食品製造会社と地元中学校をつなぎ、災害食についての体験学習と地元企業の思いに触れ、これからどのように生きていくかを考える教育活動のコーディネートを行った。

「国際理解×防災」（安心安全なまちづくり及び地域づくりの支援事業、よりよい未来を創る事業）

- ・新発田市在留外国人セミナーにて、在留外国人と支援者が防災を学びながらお互いを知る機会として、やさしい日本語での防災訓練や避難所生活体験を実施した。開催できなかったものの、こども防災未来会議@2019 特別編では、長岡市国際交流センターと連携し、小・中学生が長岡市在留外国人に防災の大切さを伝える機会を企画・調整することができた。

② 重点「地域の教育力を結集し、学校防災教育をまちで支える仕組みを創る」の実現に向けた取り組み

「長岡市内の小・中学校での防災教育」（学校防災教育の支援事業）

学校防災教育を地域全体で支える基盤づくりでは、教材差し替えのためにサポーターが学校を訪問する仕組みが、学校防災教育担当者との持続可能なつながりをつくる機会になっている。

- ・学校の担当者が交代しても、毎年の訪問で顔を合わせ、新担当者にサポートの仕組みやこれまでの防災教育活動等を伝達する貴重な役割を担っている。
- ・訪問の担い手は現在 21 名になった。地域に詳しい方の訪問は学校からも重宝されており、今後、訪問担当を市内全中学校区に 1 名以上配置していく予定である。
- ・ある中学校区では 4 年間の地域による防災教育サポートが実り、3 小学校からなる中学校から、学区全体での学校・地域合同での防災訓練を実施したいとの相談につながった。新型コロナウイルス感染症の影響で令和 2 年度の開催は見送ることにはなったが、防災訓練という機会ですのような子どもを育てていくか、地域はどのような発展を目指すのかといった、地域での教育と未来について議論する機会が持て、今後につながる動きが生まれたと感じている。

持続可能な防災教育をまちで支える仕組みの実現に向け、様々な事例とその支え方を整理していき、そのノウハウを市内の他校、他市町村、他県への水平展開を目指す。

③ 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

緊急事態宣言の発令及び学校の臨時休校等に伴い、以下の支援活動に取り組んだ。

- 目的
- ・新型コロナウイルス感染症拡大渦の自然災害に備え、防災・減災を学ぶ機会をつくる
 - ・人と人のかかわりとつながりを守る
 - ・子どもの学びを止めない工夫を支える

支援活動 ※ 延べ 219 名に対し計 23 回実施した。

- ・ホームページや SNS にて、家庭で楽しみながら防災を学べる教材の発信
- ・教職員及び保護者向けオンラインミーティングツールの操作体験会・研修会
- ・オンラインミーティングツールを活用した防災イベントの開催

次年度もニーズに寄り添う伴走型の支援活動とタイムリーかつコンスタントな情報発信を継続していき、人と人のかかわり、地域に学ぶ・郷土愛を深める防災教育の推進に注力していく。同時に、終息が見通せない新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、いかなる状況下でも防災・減災について学ぶ機会が守られ、人と人がつながる場づくりや情報発信事業にも力を入れていく。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
学校防災教育の支援事業	①ふるさと新潟防災教育推進事業 (学校サポート)	①～⑥ 年度当初から令和	①県内全域	2人	県内の小・中学校、高等学校の教員及び児童生徒、保護者、地域住民、防災・教育関係団体等	1,290
	②防災教育コンテンツ中学校サポート事業	2年3月	②長岡市	5人		1,163
	③小学校防災教育サポート事業		③長岡市	5人		2,400
	④新潟市「防災教育」学校・地域連携事業		④新潟市	3人		1,640
	⑤小・中学校の防災教育サポート		⑤新発田市	2人		30
	⑥西蒲区防災キャンプ事業		⑥西蒲区	3人		931
	⑦地域防災教育事業	⑦令和2年4月から年度末	⑦長岡市	2人		1,800
	⑧その他事業	⑧年度当初から年度末	⑧県内全域	3人		609
地域及び家庭の防災教育支援事業	①南区総合防災訓練及び白根高校防災学習支援	①年度当初から令和2年3月	①新潟市	2人	県内・外の未就学児、小・中学校、高等学校の教員及び児童生徒、保護者、地域住民、防災・教育関係団体等	336
	②その他講座等	②年度当初から年度末	②県内全域	4人		29
防災教育の推進に関する交流・イベント事業	親子で体験イベント「あそんでまなぼうさい」 ※ 中止	令和2年3月上旬	長岡市健康センター	5人	長岡市内小学校3年生から6年生の児童生徒とその保護者等	0

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
安心安全なまちづくり及び地域づくりの支援事業	①新潟市北区防災士の会スキルアップ事業	①年度当初から令和2年3月	①新潟市	3人	新潟市北区防災士の会所属の防災士等	420
	②企業等防災研修及び教育教材開発支援 ※ 中止	②年度当初から年度末	②県内全域	2人	県内の企業、地域住民等	0
	③その他講座等	③年度当初から年度末	③県内全域	2人	地域住民等	619
よりよい未来を創る事業	①こども防災未来会議 [®] 2019の開催及び県内3箇所での防災かべ新聞展示会	①年度当初から令和2年3月	①、② 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい、県庁他	16人	①、② 県内の小・中学校の教職員と児童生徒、保護者、地域住民、防災・教育関係団体等	216
	②こども防災未来会議 [®] 2020の開催及び県内3箇所での防災かべ新聞展示会	②令和2年4月から年度末				125
情報発信事業	実践事例集の制作と販売 ※ 中止	年度当初から年度末		3人		0
その他事業	①令和2年台風19号による被災地支援	①令和元年12月26日	福島県いわき市	2人	福島県いわき市内の避難所	171
	②新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援	②令和2年4月から年度末	県内	2人	新潟県民	

参考資料 1 サポート実績一覧

学校（小・中学校、高等学校、特別支援学校）及び教育委員会等

○防災教育等に関する打合せ・相談、講師、研修会等 149校 11団体 延べ 334回

阿賀野市立笹神中学校 PTA	国立妙高青少年自然の家	新発田市教育委員会 中央公民館
新発田市青少年宿泊施設 あかたにの家	上越市教育委員会 学校教育課	長岡市教育委員会 学校教育課
長岡市中央公民館	新潟県教育庁 下越教育事務所	新潟県立教育センター
新潟市教育委員会 学校支援課	新潟市教育委員会 豊栄地区公民館	魚沼市立堀之内中学校
新発田市立二葉小学校	新発田市立藤塚小学校	新発田市立加治川小学校
新発田市立川東中学校	新発田市立猿橋中学校	新発田市立紫雲寺中学校
新発田市立豊浦中学校	新発田市立東中学校	上越市立稲田小学校
関川村立関川中学校	長岡市立の全 82 小・中学校	新潟県立白根高等学校
新潟県立正徳館高等学校	新潟市立青山小学校	新潟市立阿賀小学校
新潟市立味方小学校	新潟市立味方中学校	新潟市立石山中学校
新潟市立臼井小学校	新潟市立臼井中学校	新潟市立越前小学校
新潟市立大野小学校	新潟市立笠木小学校	新潟市立巻東小学校
新潟市立潟東中学校	新潟市立亀田西小学校	新潟市立亀田西中学校
新潟市立葛塚中学校	新潟市立葛塚東小学校	新潟市立光晴中学校
新潟市立江南小学校	新潟市立小瀬小学校	新潟市立小須戸中学校
新潟市立小針中学校	新潟市立桜が丘小学校	新潟市立白根北中学校
新潟市立白根第一中学校	新潟市立新関小学校	新潟市立月潟小学校
新潟市立月潟中学校	新潟市立中之口中学校	新潟市立中野小屋中学校
新潟市立中野山小学校	新潟市立新潟小学校	新潟市立新潟柳都中学校
新潟市立新津第五中学校	新潟市立新津第二小学校	新潟市立白山小学校
新潟市立白南中学校	新潟市立早通小学校	新潟市立東山の下小学校
新潟市立日和山小学校	新潟市立藤見中学校	新潟市立巻北小学校
新潟市立巻西中学校	新潟市立巻東中学校	新潟市立松野尾小学校
新潟市立山潟小学校	新潟市立山潟中学校	新潟市立寄居中学校
新潟大学附属長岡小学校	新潟大学附属長岡中学校	新潟大学附属新潟中学校
燕市立小池中学校	十日町市立中条小学校	見附市立今町小学校
妙高市立新井北小学校		

地域

○地域防災や防災教育の相談、講師、イベント、研修会等 **36 団体 延べ 59 回**

NPO 法人多世代交流館になニーナ（親子防災キャンプの企画・講師）※令和元年台風 19 号により中止

NPO 法人ディンプルアイランド（放課後児童クラブでの防災講座 パッククッキング）

NPO 法人新潟 NPO 協会（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、NPO 等の対象支援事業に関する情報収集）

株式会社グリーン産業（親子防災キャンプのサポート）※令和元年台風 19 号により中止

株式会社ホリカフーズ（魚沼市立堀之内中学校における防災教育への協力依頼・コーディネート）

株式会社藤田組（小学生向けの土木に関する防災講座の相談）

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所（水防災教育プログラム検討支援）

新発田市市民まちづくり支援課（新発田市在留外国人向け防災講座 災害時の避難所紹介と体験）

胎内市総務課（新発田市在留外国人向け防災講座・胎内市総合防災訓練の相談）

長岡市青葉台・宮本・大積の各連合自主防災会（青葉台中学校区における学校と連携した防災訓練）

長岡市危機管理防災本部（学校訪問担当への研修、長岡市版洪水マイ・タイムラインの作成）

長岡市阪之上コミュニティセンター（オンライン防災講座 パッククッキングの企画・提案）

長岡市子育ての駅 たんぽぽ（母子向け防災講座 避難所の説明・災害時の備え）

長岡市川崎コミュニティセンター（地域向け防災講座の相談 洪水災害からの避難方法・ハザードマップ）

長岡市子育ての駅 なかのんひろば（母子向け防災講座 避難所の説明・災害時の備え）

長岡市子育ての駅 にこにこ（母子向け防災講座 避難所の説明・災害時の備え）

長岡市子育ての駅 もりもり（母子向け防災講座 避難所の説明・災害時の備え）

長岡市地域振興戦略部（長岡市中越メモリアル基金事業への提案、事業申請）

新潟県魚沼地域振興局健康福祉部 魚沼保健所（災害時食のセーフティーネット検討会）

新潟県県民生活環境部 震災復興支援課（新潟県防災教育ホームページの修正に関する相談）

新潟県土木部河川管理課（水防災教育プログラムの検討支援、平成 31 年度以降の事業相談）

新潟市秋葉区社会福祉協議会

（放課後児童クラブでの防災講座のコーディネート、オンライン親子向け防災講座の相談・企画 等）

新潟市北区役所地域総務課（新潟市北区防災士の会スキルアップ事業の企画・運営）

新潟市小合コミュニティ協議会（地域防災・避難所運営に関する研修会）

新潟市小須戸コミュニティ協議会（地域と中学校合同防災学習及び訓練の打合せ・講座講師）

新潟市庄瀬地区防災訓練（訓練での防災講座 防災楽習迷路の運営・防災グッズの展示紹介）

新潟市白根地域コミュニティ協議会（冬まつりでの子ども向け防災講座）

新潟市新飯田地区合同防災訓練（訓練での防災講座 語り部の体験談・防災グッズの展示紹介）

新潟市西蒲区地域総務課（西蒲区防災キャンプ事業の企画・運営）

新潟市南区役所地域総務課（南区総合防災訓練のサポート・講師、防災士の会の避難所運営研修）

パートナーズプロジェクト税理士法人（夏祭りでの防災講座 サバイバル体験）

兵庫県立大学院大学院減災復興政策研究科（講義）

（公財）新潟県国際交流協会（新発田市在留外国人向け防災講座のコーディネート）

（公社）中越防災安全推進機構（ふるさと新潟防災教育推進事業のサポート）

資料2 メディア等で取り上げられた活動

長岡市小学校防災教育サポート事業・長岡市防災教育コンテンツ中学校サポート事業

新潟日報 2019/10/22 掲載



災害時でも手軽に調理できる「パッキング」を体験する子どもたち。長岡市太田小中学校

ふるさと未来創造堂

災害から身を守る術指導

小中学校に講師 防災教育を支援

「ふるさと未来創造堂」は、NPO法人「ふるさと未来創造堂」が、希望に応じて防災教育を支援している。学

新潟日報 2019/10/24 掲載

2019年(令和元年)10月24日(木曜日) 社説・窓 4

社説

2019.10.24 Editorial

中越地震15年

大規模な災害の発生が後を絶たない。地震の経験を忘れず、防災教育を。防災教育は、防災教育プログラムは、2004年10月23日の中越地

教訓の伝承に一層の力を

中越地震15年。大規模な災害の発生が後を絶たない。地震の経験を忘れず、防災教育を。防災教育は、防災教育プログラムは、2004年10月23日の中越地

読売新聞 2019/10/26 掲載



災害に強い長岡教育で作りたい

元消防士・中野さん

長岡市のNPO法人「ふるさと未来創造堂」は、防災教育の支援活動に取り組んでいる。2015年に防災の有識者らで設立。元消防士で常務理事の中野雅嗣さん(40)は「防災教育を通して、災害に強い長岡、新潟をつくりたい」と語る。

児童たちに防災の大切さを説く中野さん＝15日、長岡市で

「防災教育を授業で展開する方法、災害食の調理技術、紙食器の作り方を盛り込んで」

市立栖吉小では15日、5年生を対象に中越地震の被災者から体験談を聞く授業も企画した。「避難所は毛布が足りなかった」「車いすの男性のトイレを高校生が介助してくれた」と当時の様子を知らされた子どもたちは、真剣な表情でメモを取った。

新潟日報 2019/9/20 掲載

避難所の苦勞 思いはせ

栖吉小・中学校が防災教室

長岡市栖吉小の両校は17日、中越地震の教訓を継承し、防災教室を開いた。児童、生徒ら約60人が、避難所となった学校の様子について話を聞き、避難先で協力できることは何か考えた。

地震から15年を前に、例年とは別な避難訓練を同校で行った。厚い教科書などで頭を保護しながら、校庭で意見を出し合った。栖吉小の2年生水沢愛唯さん(10)は被災時を知り元職員でNPO法人「ふるさと未来創造堂」のメンバーが講師。日頃の準備をしっかり脚を締め、避難所は水が

出ず、トイレの水でトイレを流したり、体育館で寝た。児童、生徒ら約60人が、避難所となった学校の様子について話を聞き、避難先で協力できることは何か考えた。

栖吉小中が合同で開いた防災教室＝17日、長岡市悠久町2の栖吉中

※2019/9/17 BSN「ゆうなび」でも放送

読売新聞 2019/12/8 掲載

新潟日報 2019/12/11 掲載

2019年(令和元年)12月8日(日曜日) 新潟 県



「防災人ごとと思わない」

長岡こども会議で意見発表

防災や減災について学んだ子供たちが、その成果を発表する「こども防災未来会議2019」が7日、長岡市大手通2の長岡震災アーカイブセンターきおくみらいで開かれた。

学校や地域での防災教育を支援する同市のNPO法人「多ごと未来創造堂」の主催で、今年で5年目になる。参加したのは、防災未来会議の一環で事前に募集した「防災かべ新聞コンクール」に入選した、県内の小中学生26人。この日は、県内で自然災害で亡くなる人をゼロにするため、自分たちが伝えたい大切なことや、多くの人に効果的に伝える方法を考えた。

参加者は五つの班に分かれ、「防災グッズを備える」「防災を入りごとと思っていけない」「地域のイベントで(伝えたい内容を)まとめた新聞を配る」などの意見を出し合った。

最後には各班の代表5人がまとめた意見を発表。新潟大学教育学部付属長岡中学校1年の小林実香さん(19)は、「災害前も後も人任せしないで、自分から動くことが大事」などと訴えた。

同法人の沢田雅浩理事長は、「自分の宣言を、他の人にも広げていってほしい」と呼びかけていた。

※左の意見を発表する子供たち(7日、長岡市で)

2019.12.11 日版

災害への心構え 真剣に意見交換

こども防災未来会議

防災について県内の小中学生は入賞した小中学6校の約30人が出席した。子どもたちは防災グッズの紹介や避難所での心配りなど、新聞で取り上げた内容を発表。災害で亡くなる人をゼロにすることをテーマに5グループに分かれて話し合った。「地域の交流会などが集まる場所です。災害と呼び掛ける」「いつ、どこに逃げるかを日頃から話し合っておくことが大切だ」などの意見が出た。

長岡市東中3年の赤塚樹治さん(14)は「小学生の意見も聞けて参考になった。学んだことを周囲の人にも伝えていきたい」と話していた。

壁新聞コンクールには6校から80作品が寄せられ、グランプリは小学校中学年の部が妙高市新井北小、高学年の部が新潟市白山小、中学生の部が長岡市東中に決まった。

入賞作品などは13日までフェニックス大手イーストスクエアで展示された後、19日～1月6日が柏崎市のかわさき市民活動センターまちから、1月8日～27日が県庁18階展望キヤタリ2力所を巡回する。会場は1。



防災活動について話し合う子どもたち=長岡市大手通2